

JIS

自動車部品— ワイパーム及びワイパブレード

JIS D 5710 : 1998

(2008 確認)

平成 10 年 7 月 20 日 改正

日本工業標準調査会 審議

(日本規格協会 発行)

著作権法により無断での複製、転載等は禁止されております。

まえがき

この規格は、工業標準化法に基づいて、日本工業標準調査会の審議を経て、通商産業大臣が改正した日本工業規格である。これによってJIS D 5710 : 1993は改正され、この規格に置き換えられる。今回の改正では、次の3規格ISO 9258 (Passenger cars—Wiper systems—Wiper blade length)、ISO 9259 (Passenger cars—Wind-screen wiper systems—Wiper arm-to-blade connections)及びISO 9704 (Passenger cars—Wiper systems—Shaft ends and arm-holes)を基礎として用いた。

JIS D 5710には、次に示す附属書がある。

附属書(規定) 特定車両用ワイパ及び一般車両の補修用ワイパーブレードのクリップ及びアームヘッド—形状寸法

主 務 大 臣：通商産業大臣 制定：昭和 38. 11. 1 改正：平成 10. 7. 20

官 報 公 示：平成 10. 7. 21

原案作成協力者：社団法人 日本自動車部品工業会

審 議 部 会：日本工業標準調査会 自動車・航空部会 (部会長 佐藤 武)

この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課 (☎100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1) にご連絡ください。

なお、日本工業規格は、工業標準化法第15条の規定によって、少なくとも5年を経過する日までに日本工業標準調査会の審議に付され、速やかに、確認、改正又は廃止されます。

日本工業規格

JIS

自動車部品—ワイパーム D 5710:1998
及びワイパブレード

正 誤 票

ページ	位置	誤	正
2	下から1行目	…行ったときに、ブレードの性能…	…行ったときに、ブレードの性能…

備考1. この正誤票は、第1刷に対するものです。

2. この規格についての意見又は質問は、工業技術院標準部材料機械規格課（〒100-8921 東京都千代田区霞が関1丁目3-1）にご連絡ください。

1999.3 日本規格協会 発行

白 紙

自動車部品—

D 5710 : 1998

ワイパーム及びワイパブレード

Automotive parts—Wiper arms and wiper blades

序文 この規格は、1.適用範囲の備考に示す対応国際規格を元に、対応する部分(性能のうち先端移動量及び回転運動量、クリップの形状及び寸法並びにアームヘッドとピボットシャフトの形状及び寸法)については技術的内容を変更することなく作成した日本工業規格であるが、クリップの形状及び寸法のうち、対応国際規格には規定されていないピンクリップ式を追加し、また、対応国際規格には規定されていない規定項目(先端移動量及び回転運動量以外の性能、外観、アームの形状及び寸法、試験方法及び表示)を日本工業規格として追加した。

なお、点線の下線を施してある箇所は、対応国際規格にはない事項である。

1. 適用範囲 この規格は、自動車用ワイパーム及びワイパブレード(以下、それぞれアーム及びブレードという。)に適用する。

備考 この規格の対応国際規格を、次に示す。

ISO 9258 : 1989 Passenger cars—Wiper systems—Wiper blade length

ISO 9259 : 1991 Passenger cars—Windscreen wiper systems—Wiper arm-to-blade connections

ISO 9704 : 1990 Passenger cars—Wiper systems—Shaft ends and arm-holes

参考 対応国際規格は、乗用車用のアーム及びブレードについて、主に形状・寸法を規定しているが、この規格ではすべての自動車の前面ガラスに用いる製品の規格としての必要事項を規定した。

2. 引用規格 次に掲げる規格は、この規格に引用されることによって、この規格の規定の一部を構成する。これらの規格は、その最新版を適用する。

JIS B 0205 メートル並目ねじ

JIS B 0209 メートル並目ねじの許容限界寸法及び公差

JIS D 0103 自動車部品—電気装置の機器・部品—名称

JIS D 0201 自動車部品—電気めっき通則

JIS Z 2371 塩水噴霧試験方法

JIS Z 8741 鏡面光沢度—測定方法

3. 定義 この規格の中で用いられる主な用語の定義は、JIS D 0103によるほか、次による。

— **ワイパシステム** ワイパモータ、ワイパリンク、アーム及びブレードで構成されるもの。

4. 種類 アーム、ブレード及び各結合部の種類は、次のとおりとする。

a) アームは、形状によって1本形と2本形の2種類とする。

b) ブレードは、形状によって曲面形と平面形の2種類とする。

c) アームとブレードとの結合方法(以下、クリップという。)は、付表1に示す2方式とする。